何歳になっても自分の歯でしっかり噛みたいあなたへ

はじめてのインプラント

Implant

最先端の設備・充実したカウンセリング
そして豊富な実績に基づいた
ひよどり台歯科クリニックにしかできない
インプラントとは？

ひよどり台歯科クリニック

HIYODORIDAI DENTAL CLINIC

今日とかわらない健やかな明日のために

1. はじめに ― 当クリニックの歯科治療にかける想い ―

みなさま、はじめまして。
ひよどり台歯科クリニックの院長を務めております東田淳一郎です。
この小冊子を手にとっていただき、誠にありがとうございます。
私たちのクリニックでは、北欧型ヘルスプロモーションを地域に普及させるために、日々診療を行っております。

ヘルスプロモーションとは
1986年にWHOが提唱したオタワ憲章の根幹をなす健康戦略であり、「健康は人々が充実した人生を送るための大切な資源と考え、最終ゴールは1人1人の幸せな人生にある」とする考え方です。
自分の健康は自分で守る＝ヘルスプロモートすること

私は、患者さまとお互いに信頼関係を築き、歯に関心をもっていただきお互いが納得できる治療をやり続けることを目標としています。

「治療を早く終わらせたい」、「そんなに治療に時間が使えない」、「歯に、そこまで価値観を見いだせない」という患者さまには不向きな歯科医院かと思います。

しかしながら「時間をかけて丁寧に治療したい」、「しっかり治療したい」「歯を健康な状態で維持しつづけたい」という患者さまには当クリニックは、最適の歯科医院であると思います。

スタッフ一同、みなさまの人生をより豊かにするお手伝いをさせていただきたいと思っております。

歯をなくしてしまったあなたへ

2. 歯をなくされた方へお伝えしたいこと

歯をなくされたままだと 大変なことになります！

正常な位置に生えていた歯が抜けたり、歯を抜いた後
お食事に支障がないからといってそのまま放置すると
残された歯への負担が大きくなり、残された歯の寿命が短くなります。

さらには、抜けた部分に となりの歯が倒れてきたり
噛み合わせの相手を失くした歯が 伸びてくるなど
歯並びがくずれて、噛み合わせが狂ってしまいます。

噛み合わせが狂うと、左右のあごの関節がバランスを失い
顎関節症（がくかんせつしょう）という病気を起こします。
この病気になると、お口を開閉するたびにポキポキ音が鳴ったり
お口が開かなくなったり、頭痛や耳鳴りが起こります。

以上の理由から、歯が抜けたところは

**必ず治療をおこなって、左右のどちらでも
バランスよく噛めるようにすることが大切です。**

歯が抜けたまま放置すると・・・

- ☑ 残った歯の寿命が短くなる！
- ☑ となりの歯が倒れてくる！
- ☑ 対合していた歯が伸びてくる！
- ☑ 噛み合わせが狂う！
- ☑ 頭痛や肩こり、さらには顎関節症（がくかんせつしょう）の危険がある！

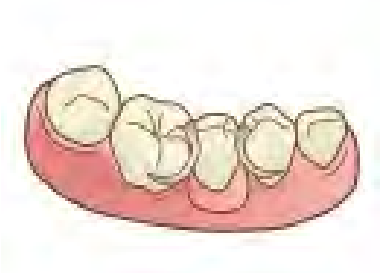
歯をなくしたら　これまでは　どうしていたのか

3. 歯をなくしたときの治療法

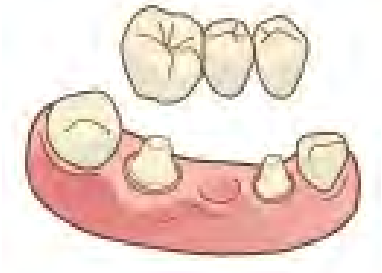
歯が抜けたところに行う治療法は３つあります。

- ●治療法 ①・・・ 部分入れ歯
- ●治療法 ②・・・ ブリッジ
- ●治療法 ③・・・ インプラント

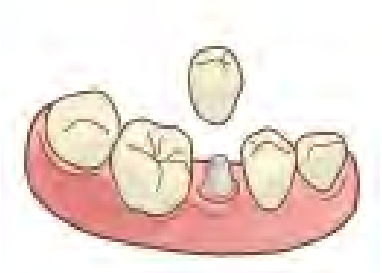
この中で、当クリニックはインプラントを推奨しています。



部分入れ歯



ブリッジ

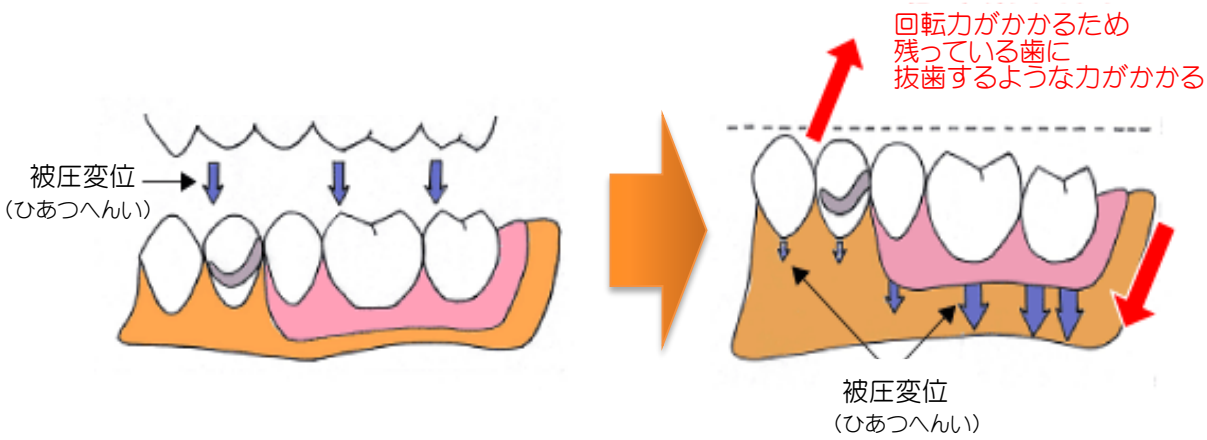


インプラント

なぜ部分入れ歯やブリッジを推奨しないかというと
これら二つの治療法には、致命的な欠点が存在するからです。

①　部分入れ歯の欠点

歯を失った際に行う治療のうち、今まで最も多かった治療は部分入れ歯でした。
しかし、インプラント技術が向上してきた今、部分入れ歯を選択しない人が増えてきています。部分入れ歯の欠点は、「噛む力が弱まる」、「見た目が悪い」「会話の時に外れる」など、色々とありますが、最も大きいデメリットは「残っている歯に大きな負担がかかり、その寿命が縮まる」ということです。

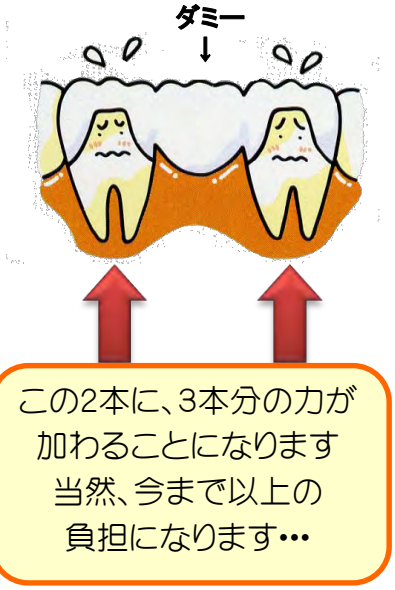


② ブリッジの欠点

ブリッジの欠点は、なんといっても
「両隣の健全な歯の寿命が縮まる」という点が挙げられます。

まず、ブリッジ装着時に、両隣の歯を削らなければなりません。
歯の寿命は、削るとやはり短くなります。

そしてブリッジ装着後にも、両隣の歯に負担がかかります。
例えば、1本の歯を失った場合、その前後の歯を削って
その2本で計3本分の噛み合わせの力を支えるため
前後2本の歯にかかる負担はかなり大きくなります。
（単純計算でも1．5倍も圧力が加わります）
欠損が2本であれば、さらなる過重負担が考えられます。



また、両隣の歯とつながっているダミーの詰め物の間の清掃が
困難なため、虫歯や歯周病になる可能性が高まります。

③ 部分入れ歯とブリッジによる歯への負担の増大

部分入れ歯の場合も、ブリッジの場合も
両隣の歯に負担がかかってしまうことについて、ご理解いただけたと思います。
「負担をかける」とは「両隣の歯もダメになる（＝抜歯）」につながるわけです。

つまり、
部分入れ歯やブリッジが、隣の歯をダメにし、そのために
大きな部分入れ歯やブリッジに替えると、さらにその隣の歯がダメになる・・・
これを繰り返すと、最終的には「総入れ歯」になってしまうわけです。

これが、今までの歯科治療の限界でした。
「誰でも歳をとれば、入れ歯になるのは仕方ないね」 と思う方が多いかもしれません。
おじいちゃんやおばあちゃんを見ていると、そう思われるのも自然かもしれませんが
実は、この常識は、世界（特に欧米）では　非常識なのです。

その解決法が、インプラントなのです。

歯をなくした方のための最新の治療法

4. インプラントとは？

① インプラントの利点

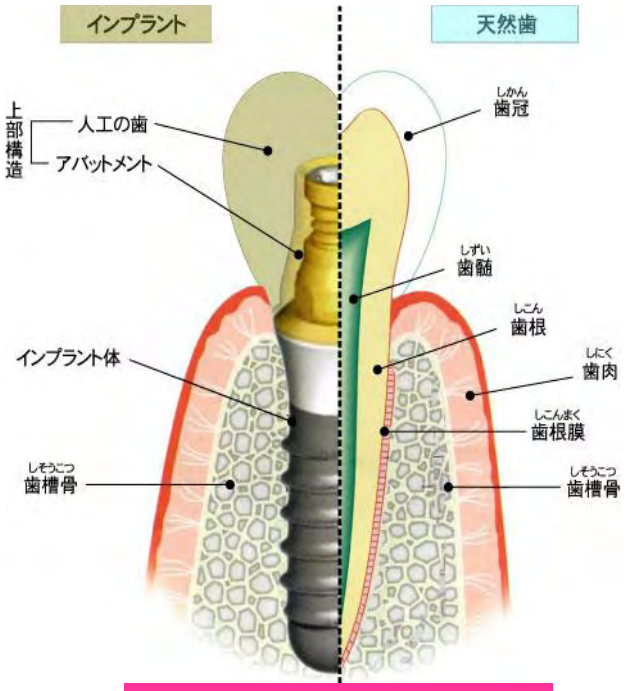
それでは、第三の治療の選択肢、インプラントとは どのような治療なのでしょうか？
歯の根に替わる人工的な根を　骨の中に埋め込んだ上で、その上に歯を形成
しようとするのが、インプラントです。

実際には、骨に穴をあけて、そこにチタン製の人工歯根を埋め込み
それが骨とがっちりと結合した状態にして、その上に人工の歯を取りつける治療方法です。

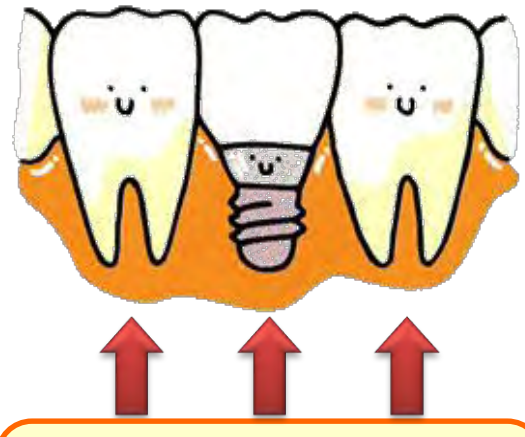
インプラントは、あごの骨にしっかりと固定されるので

自分の歯のように　しっかりと噛むことができます。
つまり、今までのような美味しい食事が楽しめるのです。

また、両隣の歯を削る必要はなく、歯にかかる負担も本来と同程度のままですから
両隣の歯の寿命を縮めません。
万一、将来インプラントを失うことになっても、再度インプラントを植えることも可能です。



インプラントの仕組み



インプラントは
直接あごの骨と固定するため
両隣の歯に負担をかけることがなく
歯の寿命を縮めません

② インプラントの欠点

インプラントに医学的なデメリットはありません。
しかし欠点がないわけではありません。
外科手術を伴うため、患者さまには次のような心理的な不安があるようです。

☑ 手術時の痛みの不安

手術といえば痛そうなイメージがつきものですが、当院ではインプラント手術は
無痛（麻酔下）で行います。無痛の状態が得られたことを確認してから手術を始めます。
所要時間は、予定する本数にもよりますが、30分から60分ぐらいです。
少し難しい抜歯を行うのと同じ程度です。ご安心ください。

☑ 手術の成功率の不安

外科的な手術は、誰にとってもやはり怖いものです。
インプラントが骨と結合する率（オッセオインテグレーション）は
統計上、上あごで 96%、下あごで 98%以上です。
万一、骨と結合しない場合でも再手術を行うことが可能です。ご安心ください。

☑ 耐久年数の不安

インプラント手術をしても3年と持たずに外れてしまう、という噂を聞くことがあります。
それは、術前の診断をしっかり行っていないこと、術後のメンテナンスを怠っていること
歯科医師の技術不足、のいずれか（もしくは複数）の理由が考えられます。

当院では、そのようなことがないように
「技術の向上」および「メンテナンス」を徹底し
「10年間の長期保証制度」を設けております。

初回相談～メンテナンスまでの流れ

5. インプラント治療の流れ

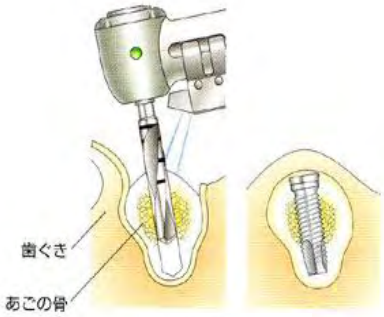
インプラント治療の流れは次のようになります。

1. 診断・治療計画

インプラントについて質問していただき、治療についてのご相談をいたします。模型作製やX線診断、CT撮影などを行い、インプラント治療が可能かどうかを診断します。
可能である場合、インプラントの資料をもとに説明を行い本数や費用について記載した見積書を作成し、お渡しします。

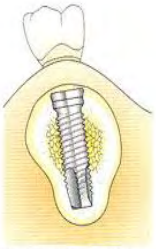
2. インプラント手術

歯の根に相当する部分のインプラントをあごの骨に埋入する手術を行います。



3. 回復待ちの期間

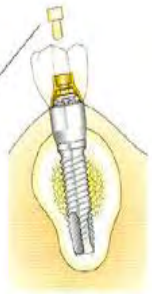
インプラントが骨としっかり結合するまで、下あごの場合は3ヶ月間、上あごの場合は6ヶ月間の回復期間が必要です。



仮歯を使用する例

4. 人工歯の装着

固定されたインプラントに歯の替わりとなる人工歯を装着させます。



5. メンテナンス

インプラント治療終了後、ホームケアと定期検診・メンテナンスを実施していきます。

インプラント治療は決して どこで行っても同じではありません

6. ひよどり台歯科クリニックにしかできないインプラント

かつてインプラント治療は少数の医院でしか実施されていませんでした。しかし現在では、非常に多くの医院がインプラント治療を標榜しています。患者さまにとっては治療技術は見えないものであり、専門的でわかりにくいことと思います。そこで「ひよどり台歯科クリニックにしかできないインプラント」の特徴を挙げさせていただきます。

日本口腔インプラント学会会員

平成8年日本口腔インプラント学会入会以来、日々技術の向上に努めております。

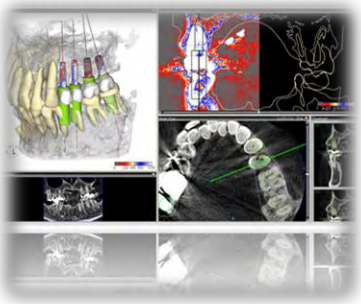
CTによる精密検査

インプラントの事故の80％は、CT撮影を怠ることが原因で起きています。当院では、埋入場所の骨の状態を確認した上で「安全・確実」に手術をします。 CT撮影は「わかば画像診断クリニック」と提携して行っています。

わかば画像診断クリニックの
CT撮影装置

インプラント3D解析ソフト「10DR」で画像解析 コンピューターガイデッドサージェリーによる 安全・確実なインプラント手術

インプラント3D解析ソフト『ビオナ（BioNa）』とは、最新のCTスキャンを用いて撮影した画像を元にCT画像を解析するソフトです。埋入場所、埋入本数、インプラント体の長さ、および直径が決定すれば、コンピューターから解析されたボーンナビと呼ばれる手術用ガイドを作製し、そのガイド通りに手術します。この方法をコンピューター・ガイデッド・サージェリーといいます。精度の高い繊細な手術が可能になります。
（使用の有無は症例により異なります）



万全の感染対策

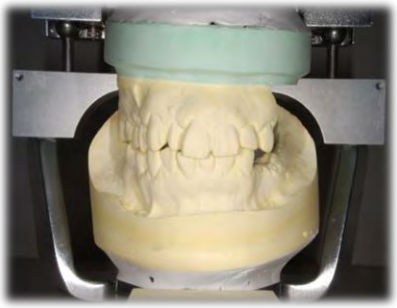
当院では、一人の患者さまのために医院全体を貸し切りにして、インプラント手術を行います。 高名な先生の中にも多数、普段の診察着で手術される先生をお見受けしますが当院では、感染対策の一環として、たとえ1本のインプラント手術でも、手術着で執刀しております。

私が最も重要と考えること、最も患者さまにお伝えしたいこと、
それは「インプラント術前の咬合診断（噛み合わせの診断）の重要性」です。
咬合診断（＝設計図）なくして、安全な建物を建てることはできません。
咬合診断（＝地　図）なくして、安全に目的地へ到達することはできないのです。

日本顎咬合学会の認定医

インプラントに最終的なクラウン（被せ）を装着しても長持ちしないというトラブルを耳にします。また、歯がなくなった原因を解明せずにインプラント手術をして失敗するトラブルも多発しています。こういったトラブルは、未然に防ぐことができるのです。
当院では、日本顎咬合学会認定医の院長が、患者さまの噛み合わせを事前にしっかりと診断することによって最終的な手術位置を決定しています。

咬合器による咬合診断



咬合器とよばれる 噛み合わせを再現する診断器具で歯が失われていった過程をシミュレーションします。
歯を失った原因の除去の可否をしっかりと診断します。

診断用ワックスアップ

どのような噛み合わせにすればインプラント体が長持ちするかを歯の無いところにワックスで形を作って確認します。機能（快適な噛み合わせ）・審美（見た目の美しさ）・永続性（どれくらい長く持つか）の3要素は相互に密接に関係しています。
どれかが欠けても治療の成功とは言えません。

プロビジョナル・レストレーション

本番を想定した特別な仮歯（プロビジョナル・レストレーション）を装着して生活していただきます。
この時点で快適にお食事が出来ること、あごの関節や周囲の筋肉に問題がないことを確認します。その仮歯と全く同じ形のクラウン（被せ）を作製して装着します。

なるべく負担の少ない“自分の家族にも受けさせたい”治療を…

7. 当院のインプラントにかける想い

インプラントのいい話と悪い話、どちらが本当？

昨今、週刊誌やTVの報道番組のおかげでインプラントの評判がよくないようです。本来ならば、美味しく食事をすることを諦めていた患者さまにとっての、福音となるべき画期的治療方法であるはずのインプラント治療が、一部の心無い歯科医師のために不当に危険視されていることが残念でなりません。
世界的にみると、インプラントの治療成績は、上のあごで 96%下のあごで 98%と、かなり高い成功率を誇っています。
しかしこれはインプラント先進国のアメリカやスウェーデンでのデータです。

インプラント治療成績： 日本と欧米の違いの原因

アメリカでは、大学卒業後に、4年以上、歯周病やインプラントの専門的なトレーニングを受けた者だけが専門医になります。
専門医のみがインプラント手術を行い、その結果、成功率98%なのです。
日本ではどうでしょうか？一般開業医が、インプラントセミナーと称する一日だけの商品説明会を聞いただけで、トレーニングも受けずに安易に手術するケースも報告されています。
これで欧米並みの治療成績を期待できるでしょうか？

インプラント治療成績の向上に必要なこと

私の卒業した平成4年の時点では、日本の大学にインプラント科は存在しませんでした。 そこで私は、歯周病とインプラントの専門トレーニングを受けるためにJIADS および SJCD という日本でトップレベルの卒後研修機関の門を叩きました。

JIADS とは、臨床研究と教育において全米のリーダーシップをとっている米国 IADS の姉妹組織として設立・運営されている、日本の歯周病とインプラントのスペシャリストのための機関です。
SJCD とは、歯周・外科・矯正・補綴（ほてつ）という専門的な治療技術を連携させて、総合的に治療のゴールを目指すことをコンセプトとする卒後研修団体です。

私は両機関にて歯周病とインプラント治療のトレーニングに励みました。
約5年間の研修期間を要しましたが、JIADS および SJCD における卒後研修があってこそ、日進月歩するインプラント治療に対応することが可能なのだ、と痛感しています。

自分が受けたい治療

私は、インプラント治療が、患者さまの人生のプラスになる方法であると確信しております。私自身がインプラント埋入手術を受けています。治療のあとも非常に快適に過ごしております。不安な要素は全くありません。ブリッジ治療のように両隣の健全な歯を削らずにすみ、良かったと実感しております。

家族に受けさせたい治療

あるインプラントセンター所長が、年間埋入本数が1000本であると豪語されておりました。しかし、私は、インプラントの埋入本数だけを取り上げて成果と見なすことに意味を見出せません。　現在、歯科医師に対する教育的ないし指導的立場にある高名な先生方は、年間に50本埋入することは極めて稀なことだと語っております。
それは、先述の通りに一口腔一単位として原因を解明して治療計画を立案した上で治療を進めていけば、そのような大量のインプラントを1人で埋入することは不可能であるからです。
歯の無い場所を見つければ即インプラント治療ではなく
患者さまのことを親身に考えた上で、インプラントが必要であると診断できる場合にのみ同治療をお勧めさせていただいております。インプラントに限らず
あらゆる医療が、自分の家族に受けさせたい治療であるべきと考えます。

10年間の保障制度

インプラント治療に不安をお持ちの方にもご安心いただけますように
ひよどり台歯科クリニックでは、インプラント治療後に、定期検診および
メンテナンスを欠かさずに受診いただける方には、10年間の保証制度を設けております。

治療後の予防専門プログラム

インプラント治療をした後は、できるだけ長くお使いいただけますように
ひよどり台歯科クリニックでは、歯周病専門メンテナンス・プログラムを推奨しております。
インプラントだけではなく、ご自身の歯を守るためにも、ぜひご検討いただきたいと思います。

相談する前に気になることは・・・

8. インプラントQ＆A

Q： インプラントの手術は痛くないですか？

A： 局所麻酔をして行いますので、手術中の痛みはほとんど感じません。
（歯を抜くときの痛み程度とお考えください。）

Q： ブリッジのところをインプラントに変えることはできますか？

A： ブリッジの欠損部分に、インプラントを入れることは可能です。欠損部はインプラントで歯をつくり、土台に使っていた歯にはセラミックを被せると歯も、より長持ちします。

Q： インプラント治療にかかる期間はどれくらいですか？

A： 通常、4ヶ月から7ヶ月程かかります。 一般的に、インプラントが顎骨と結合するために下あごで3ヶ月、上あごで6ヶ月の期間が必要なためです。
また、骨量が少ない場合は、骨造成にさらに3～6ヶ月の期間が必要となります。

Q： インプラント手術は誰でも受けられますか？

A： 年齢的には、あごの骨が完成する18歳以上から、健康な方であればご高齢の方でも大丈夫です。 但し、お口の清掃が十分にできない方や重度の全身疾患（重度の糖尿病、心疾患、腎疾患、肝疾患、喘息等の呼吸器系疾患、高血圧等）のある方、妊娠中の方などは、できない場合があります。

Q： インプラントはどのくらい長持ちしますか？

A： 噛む力は、その人の体重に相当すると言われています。そのような負荷のある悪環境でも、データ上、10年で90％以上のインプラントが持つと言われています。 長持ちするか否かは、二つのことに大きく左右されます。一つは、噛み合わせです。 いくらインプラントが丈夫であっても、残っている歯が抜けたり動揺すれば、インプラントに過大な負担が生じて、寿命が短くなってしまいます。 もう一つは、汚れです。天然歯の歯周病と同様に、インプラントも細菌感染により、寿命が短くなってしまいます。
インプラントを長持ちさせるためには、歯科医師、歯科衛生士の指示を守ること日頃のセルフケア、そして処置後のメンテナンスが大変重要です。

「これからインプラント治療を」とお考えの皆さまへ

9. インプラント治療の症例集

40代　男性のケース

■□治療の経緯□■

右下奥歯2本と、左下奥歯4本が無い状態でした。
固い食材を召し上がることができないので「何でも食べられるようにして欲しい」
そして「できるだけ見た目も美しくしたい」とのご希望でした。

右下術前

左下術前

右下術後

左下術後

患者さまのお声（*アンケートからの抜粋）

Q:「インプラント治療を受けて良かった！」と思うことは何ですか？
何でも食べられるようになったことと自分の歯のような感じがします。
Q: これからインプラント治療を受けられる方へアドバイスをお願いします。
高額ですがその分元は取れると思います。
Q: インプラントの満足度と感想をお聞かせ下さい。
100％！本当にインプラントにして良かったと思いました。

60代　女性のケース

■□治療の経過□■

上下とも、かなり大きなダメージがありましたが、上下左右に合計8本のインプラントの埋入手術を受けていただくことで、噛み合わせを再建することが出来ました。

右側術前

左側術前

右側術後

左側術後

患者さまのお声（*アンケートからの抜粋）

Q:　「インプラント治療を受けてよかった！」と思うことは何ですか？
人目を気にせず話せるようになったこと。話しやすくなった。

Q:　これからインプラント治療を受けられる方へのアドバイスをお願いします。
手術もあり、高額ですが、歯は一生使うものだから価値はあると思います。

Q:　インプラントの満足度とご感想をお聞かせ下さい。
80％！自分の歯で食事が出来ているとの満足感がある。

ひよどり台歯科クリニックのホームページでは
インプラント治療以外にも審美治療、
高性能入れ歯、ホワイトニングなどの治療例を
患者さまの許可を得て掲載しています。
そして、院長ブログにて私のインプラントにかける
想いをさらに詳しく記載しております。
ご高覧頂けましたら幸いに存じます。

http://www.hiyodori-dental.jp

平成25年4月第1版

ひよどり台歯科クリニック
HIYODORIDAI DENTAL CLINIC